

令和元年度 第2回学校評議員会 報告

1 日 時 令和2年2月21日（金） 14:00～15:15

2 会 場 大船渡東高等学校 応接室

3 意見を求めた事項

- (1) 学校経営について
- (2) 学習指導について
- (3) 進路指導について
- (4) 生徒指導について
- (5) 学校評価について

4 学校評議員からの意見・質問等（要点）

- いじめアンケートに心理テスト形式のものを入れてはどうか。実際に言葉で状況や気持ちを表現できなくても、心理テスト的なもので心情を読み取る参考になるのではないか。
- 先生同士のコミュニケーションを深めて生徒対応にあたるべきである。
- 中学生にとっても、東高校は魅力がある、評価の高い学校である。
- 落ち着いた、安定のある学校経営をのぞむ。
- 保護者の満足度が高く、保護者と学校の距離が近いことも魅力的である。
- 進路について、地元の復興、発展に尽力できる若者の育成をお願いしたい。
- 陸前高田市の果樹に関わる産業で先頭に立っているのは、農業高校の卒業生であり、地区の柱となっている。地元では、農業などに関わる産業の後継者が少ないことが問題となっている。
- 震災後、地元を離れる若者が増加している。地元就職を推し進めてほしい。
- 家庭学習時間が少ない。何をすべきかを明確化すると勉学だけでなく部活動の活性化にも繋がる。
- 土木・建築が少ない。大船渡市のものづくり産業の活性化を望む。

質問① 財布の盗難について何件かあるが、その時の状況と対応を教えてください。

回答：一件目は未解決である。HRの施錠の徹底、貴重品を持って移動する、などの対応をした。貴重品袋が現在はあまり使われていないため、活用を進める。

質問② 食物文化科の入学希望者数がかかなり定員割れしていることについて、どのように捉えているか。

回答：中学生の数から考えて、調理師養成だけで生徒を集めるのは大変難しい。免許取得にかかわるため、技術を身につけることの大変さや単位数の多さなどの負担の大きさも影響しているのではないかと。多様な進路実現が可能であることを発信していく必要がある。

質問③ 問題行動で指導後は進路指導上に影響はあるのか。

回答：問題行動は就職等には影響しない。会社に関わるものではなく、あくまで指導である。